

【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	宮城県家庭教育支援チーム
活動開始年度	平成26年度
活動拠点	宮城県内各地
活動範囲	宮城県全域
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業() <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業() <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (被災者支援総合交付金「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」)
組織体制	<u>45 人</u> 宮城県から委嘱している協議委員5名と、各市町村から推薦された40名で構成されている。
具体的な活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 講座型 <input type="checkbox"/> 拠点型 <input type="checkbox"/> 訪問型 <input type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他() ※参加型ワークショップ 【活動内容】 ・宮城県家庭教育支援チーム派遣事業 各小・中学校の PTA 行事等において派遣要請がある際に、宮城県版親の学びのプログラム「親のみちしるべ」を実施しており、保護者同士が語り合い、つながり合い、学び合う場を提供している。また、中学生、高校生向けの親になるためのプログラムも実施しており、妊婦体験等を通して、親への感謝の気持ちや、命の大切さを学び、将来について考えるきっかけをつくっている。 ・宮城県家庭教育支援チーム連絡会議・研修会 年3回、宮城県家庭教育支援チーム員が一堂に会し、各地域との情報交換や連携を深めるための連絡会議を行っている。また、講師を招き、現代の社会的課題について学び、現活動と照らし合わせながら、みやぎらしい活動を充実させるために研修を行っている。

活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・本活動により、東日本大震災後の子育て中の親の心のケアにつながっている。 ・宮城県内のほとんどの市町村から1人以上がチーム員となっていることから、県内の家庭教育支援事業の情報を共有することができている。 ・近隣地域での連携が深まっていることで、互いの活動を学び合い、助け合いながら活動することが増えている。 ・年々、宮城県家庭教育支援チームの派遣事業の要請が増えており、市町村独自でも実施する回数が増加している。 ・本派遣事業の事後アンケートによると、「同じような悩みを抱えている人の多さに安心した」「互いに語り合うことができ、楽しく、有意義な時間だった」「将来についてしっかり考えることができ、命の大切さを改めて感じた」などの感想が多く、良い成果が現れていると言える。
活動において苦勞した点や課題	<ul style="list-style-type: none"> ・チーム全体の総括に苦勞しているが、チーム員一人一人の意識の高さややる気、献身的な姿勢により、支えられ、円滑に運営することができている。 ・宮城県では、平成24年、25年に宮城県版親の学びのプログラム『親のみちしるべ』を作成し、参加型ワークショップ形式で実施しているが、基本的には90分構成のプログラムであるため、要請される時間によってアレンジする必要がある。
今後の活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は、これまで以上に各地域での活動を充実させることが目標である。東日本大震災により辛い思いをした親子や震災後のストレスに悩み苦しんでいる親子の心のケアと安心の回復を目指し、全県の親子を笑顔にしたい。 ・具体的な活動としては、各市町村独自での「親のみちしるべ」の実施である。そのためにも、チーム員個々のスキルアップを図っていくことを実現させる。 ・また、貧困・虐待等の問題を抑止及び防止するためにも訪問型支援の充実等、それぞれの地域の課題に応じた、切れ目のない家庭教育支援を目指していく。 ・現在活用している親の学びのプログラム『親のみちしるべ』をブラッシュアップし、45分構成のプログラムを作成していく。それに向けて今年度作成会を立ち上げ、現在、検討を重ねている。
問合せ先	<p>宮城県教育庁生涯学習課社会教育推進班</p> <p>(TEL)022-211-3654 (E-mail) syogake@pref.miyagi.lg.jp</p>